

い、や、比、古

第320号

令和7年7月1日発行



大正12年の燈籠神事

燈籠神事

当神社の祭儀の中でも最大規模である弥彦の夜まつり「燈籠神事」が、七月二十五日を中心に斎行される。

古くから「弥彦の燈籠押し」と称され、県内外から広く親しまれているこの神事は、越後の夏祭りを代表し、日本三大燈籠祭の一つにも数えられ、国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統ある神事である。

盛夏を前に、五穀豊穰と疫病退散を祈り執り行われる。二十五日夜の神輿渡御、大燈籠巡行をはじめ数々の神賑行事が行われる。

舞童選定式 素講・御慣

神事は七月十二日の「舞童選定式」に始まる。大祭当日に御神輿が還御の後、拝殿前に設けられた仮舞殿にて奉奏される「社古伝の舞」「神歌楽(かがらく)」「天犬舞(あまいぬのまい)」を奉仕する「舞童(ぶどう)」二名を神籤により選定する式である。

古くは「神歌楽」を舞う舞童は旧社家中の、「天犬舞」を舞う舞童は旧神領民の、それぞれ九歳前後の嫡男が奉仕した。現在は神職・旧社家・氏子中より選定される。

続いて十八日に御神輿二基を拝殿内に奉遷して「神輿祭」が斎行され、祭典の後には神社方・町方に分かれ「素講(すこう)」と称する諸事打ち合わせの儀式が行われる。

二十二日は「御慣(おならし)」と称する、神歌楽・天犬舞の習熟度を検分する儀式が行われる。その夜は「花揃(はなぞろえ)」と称して各大燈籠講中より奉納された、造花や雪洞で飾った大燈籠が廻廊内両脇に勢揃いし、燈籠神事当日まで据えられる。この日の夜から参道

に献燈された田楽燈籠に灯りが入り、境内は美しく照らされる。

二十四日夕刻には

弥彦燈籠まつり協賛会主催による民謡流し大会、村内おもてなし広場にての前夜祭が行われ、祭り気分が一段と盛り上がりを見せる。



神輿渡御 大燈籠巡行

大祭当日二十五日の午前九時より特殊神饌である大御膳(おおごぜん)を献進して祭典が斎行される。弥彦小・中学校の児童・生徒らによる児童燈籠押しや、弥彦近郊の里神楽の奉納など神賑行事も催される。

夕刻四時半からは、神輿渡御の順路を櫂の大枝を曳き廻して浄める「御櫂引き(おけやきひき)」が、氏子の子供たちによって行われる。

午後七時からは、大太鼓を合図に回廊内に据えられた大

燈籠が宿元へと下がる「宿下が

り」。宿元前では各講中地元の盆踊りなどが賑々しく披露される。夕暮れには、県内の山岳会員有志約百三十名が松明を手に弥彦山頂から下山し始め、拝殿前で参拝の後、ボーイスカウト西蒲原第七団が演奏する鼓隊を先頭に門前を行進する「松明行進」が行われる。

祭事暦

(七月～九月)

七月中

- 二日 月次祭(午前十時)
- 十日 交通安全祈願大祭(午前十時)
- 十八日 神輿祭(午前十一時)
- 二十五日 燈籠神事大御膳献進(午後九時)
- 神輿渡御大燈籠巡行(午後九時)
- 二十六日 還御祭(午前九時)
- 献華・献茶祭(午前十一時)

八月中

- 二日 月次祭(午前十時)
- 十日 交通安全月次祭(午前九時)
- 二十五日 撰社桜井神社例祭(午前十一時)
- 相撲節会(午前九時半)
- 二十七日 末社 上諏訪神社例祭(午前十時)
- 末社 下諏訪神社例祭(午前十時)

九月中

- 一日 風神祭(午前十時)
- 二日 月次祭(午前十時)
- 九日 末社十柱神社例祭(午前十一時)
- 十日 交通安全月次祭(午前九時)
- 十五日 撰社妻戸神社秋季祭(午前十一時)
- 末社 二十二所社例祭(午前十一時)
- 二十三日 秋季皇靈祭遙拜式(午前十時)

神輿講と大燈籠講中



午後九時、打ち上げ花火が轟き、発御を告げる大太鼓と法螺貝が鳴り響くと、いよいよ神輿渡御・大燈籠

巡行が幕を開ける。伶人が奏でる典雅な道楽と、沿道を埋める観衆のざわめき、大燈籠講若衆たちの威勢の良

掛け声の中、華やかな大燈籠と大小の田楽燈籠が供奉して御神輿が渡御される。途中七カ所の末社前にて伶人が神歌(かみうた)を披講し、行列は二時間余をかけて町内を進む。御神輿が拝殿に還御すると、大燈籠は拝殿前の仮舞殿を圍繞し、舞童により「神歌楽」「天犬舞」が奉奏される。一夜明けた二十六日には「還御祭」が斎行され、十五日間にわたる長い神事が取り納められる。また、華道家元池坊新潟支部 茶道石州流・小川流の奉仕により献華献茶祭が執行され、廻廊内では奉納生花展が開催される。

去る五月二十五日、本年の役燈籠及び巡行順次が大前にて卜定され、御神慮により次の通り定められた。

- 神輿講
- 一番燈籠 燈籠神事神輿奉戴の会
 - 二番燈籠 野積神輿講(長岡市)
 - 三番燈籠 彌彦神社子青年講(弥彦村)
 - 四番燈籠 弥彦ひかり講(弥彦村)
 - 五番燈籠 袋津砂岡講(新潟市)
 - 六番燈籠 吉江講(新潟市)
 - 七番燈籠 櫻井郷講(弥彦村)
 - 八番燈籠 池の山講(新潟市)
 - 九番燈籠 矢作講(弥彦村)
 - 十番燈籠 寺泊一乗講(長岡市)
- 大燈籠講
- 弥彦燈籠祭協賛会講(弥彦村)
 - 上泉講(弥彦村)

燈籠神事 行事予定

- 七月
- 十二日 午前九時半 舞童選定式
 - 十八日 午前十一時 神輿祭
正午 素講
 - 二十二日 午後三時 御慣
夕刻 花揃
 - 二十五日 午前九時 大御膳献進
午後九時 神輿渡御
 - 二十六日 午前九時 還御祭
午前十一時 献華献茶祭
 - 神賑行事
 - 二十四日 民謡流し、前夜祭
 - 二十五日 児童青年燈籠おし
里神楽奉納
弥彦山松明行進
奉納花火大会
 - 二十六日 駅伝大会

燈籠神事 御祈祷のご案内

燈籠神事斎行に際し、嘉例により家内安全をはじめ諸願成就の御祈祷を御奉仕致します。御祈祷は燈籠神事当日の二十五日に御奉仕致しますが、事前に郵送にてお申込みいただくことも出来ます。御祈祷の初穂料は五千円以上をお納めいただきます。

なお、田楽燈籠の御奉納は、準備の都合上七月五日にて締切とさせていただきます。悪しからずご了承の程お願い申し上げます。

彌彦神社子青年会
会員募集

事務局 彌彦神社内
(〇二五六・九四・二〇〇一)

わっぱ飯膳
松花堂弁当

割烹 吉田屋
お食事

彌彦外苑坂通り
電話(〇二五六) 九四一・二〇二〇

政府登録旅館(二三七二号)
日観連会員

お宿だいろく

新潟県西蒲原郡弥彦温泉
電話(〇二五六) 941・二〇二六番

彌彦温泉

旅館 清水屋

彌彦神社前
電話(〇二五六) 941・二〇一五番

心とむ

いにしえ郷の美味な宿

彌彦温泉 剱の宿 櫻家

彌彦駅前
電話(94) 二〇〇九番

総合建設業

一級建築士事務所

設計・施工

(株) 河村組

彌彦大杉通り
電話(94) 二〇六九番

交通安全祈願大祭 七月十日

神にちかう心で果たせ交通安全

本県の交通安全宣言日である七月十日、交通安全と交通事故の絶無



を祈念して祈願大祭が斎行される。

大祭には、当神社にて車バイクの清祓を受け交通安全を祈願された「彌彦神社交通安全講」講師一万一千余名に案内がなされる。祭典に続いて、運転者に安全運転と交通法規遵守を呼びかける交通安全大会が開催され、県知事・県警本部長・県交通安全協会長から交通安全を祈るメッセージが寄せられる。例年多くの講師が参列され、賑々しく斎行される。

交通安全祈願のご案内

日々の生活の中で車輛を運転しない日は少なく、事故に遭わず平穩に過ごすためには、交通法規の遵守と安全運転の心掛けとともに、大神様の御加護を戴くことが不可欠と拝察いたします。

当神社では毎年七月十日の交通安全祈願大祭をはじめ、毎月十日の交通安全月次祭及び毎日の御日供祭にて、当神社にて車輛の御祓をお受けになった皆さまの交通安全を御祈願申し上げますが、皆さまには、新しく車輛を購入された時だけでなく、毎日運転する車輛を清々しく浄める交通安全の御祓を毎年お受けになり、安全運転の誓いを新たにされ、大神様のさらなる御加護によりご安寧に過ごされますよう、ご案内申し上げます。

相撲節会 併せて高校・子供相撲大会 八月二十七日

八月二十七日、当神社古伝の特殊神事・相撲節会（すもうせちえ）が斎行される。

当神社の鎮座地である弥彦村弥彦地内には、末社上諏訪神社、同下諏訪神社の両神社が鎮座し、古来より同神社の祭礼日である七月二十七日には当神社境内において草相撲が催され、この日は農家も作業を休み、参拝を兼ねた見物人で賑わったと伝わる。明治以後は新暦八月二十七日に日を改めたが、明治四十五年の大火後休止し、終戦後の昭和二十二年に「相撲節会」として再興された当日は当神社大前での祭典の後、神職に続いて化粧廻しをつけた役員士や氏子役員等が行列を組

んで末社上諏訪神社に参拝し、役員士による出数入り（ですいり）が奉納される。

なお、相撲節会の後に伝統ある第六十九回新潟県高等学校相撲大会が、また神事に先立ち二十四日には当神社氏子会主催の子供相撲大会が開催される。



妻戸大神例祭斎行 大々神楽全曲奉奏

妃神・妻戸大神（熟穂屋姫命）の例祭が四月十八日午前九時、特殊神饌の大御膳を献じて斎行された。

祭典に続き当神社伝来の大々神楽全十三曲が境内舞殿にて奉奏された。大々神楽は大人の面舞六曲、稚児舞七曲からなり、神職と稚児八名により奉仕され、三月二日の大々神楽配役式以降稽古に励んだ成果を披露した。大々神楽は国の重要無形民俗文化財に指定されており、全十三曲の奉奏は四月十八日のみ奉仕される。当日は拝観所である参集殿内外にて凡そ六百名程が拝観した。



お役に立ちます
— 夢づくり —

けんしん
新潟県信用組合
TEL 94-2222代

日本海・佐渡と
越後平野が一望できる——
弥彦山頂へ



弥彦山ロープウェイ
新潟県西蒲原郡弥彦村大字弥彦 2898 番地
〒959-0323 TEL (0256) 94-4141
FAX (0256) 94-4725

御菓子処 **米納津屋**
燕市吉田上町 電話(93) 21-440
神社駐車場前 電話(94) 48-113
弥彦神社通 電話(94) 18-23

越後杵つき
県産こがねもち使用

越乃銘菓 「くもがくれ」

湯かけまつり 執行

去る四月六日(日)、弥彦観光協会主催の第三十九回「湯かけまつり」が当社社氏子青年会らの奉仕にて開催された。

「湯かけまつり」は弥彦温泉発祥の地と伝わる当社社末社湯神社境内に湧き出る御神湯を、笹竹にて散じて祓い清め、御加護をいただくもの。



湯神社にて汲み上げられた御神湯は朱塗りの湯曳き車に乗せられ、氏子青年会の勇壮な木遣りに合わせて午後一時に弥彦駅前広場を出発した。湯曳き車は、沿道の観客に向けて笹竹にて御神湯を散じつつ、桜に彩られ始めた春の弥彦を多くの観光客に曳かれて進み、御神湯は目出度く御神前に御供えされた。

春季神廟祭斎行

五月十日、天香山命(あめのかごやまのみこと)と妃神・熱穂屋姫命(うましほやひめのみこと)を奉祀する弥彦山頂の御神廟にて、春季神廟祭が渡部宮司以下の奉仕にて斎行され、県民の福祉と五穀豊穰、登山者の安全等が祈念された。

当日は爽やかな五月晴れのもと、山頂諸施設関係者をはじめ、山岳会員等の多数の崇敬者が額づいた。神廟祭は春季(五月十日)・秋季(十月十日)の年二回奉仕される。



茅の輪まつり 夏越の大祓式斎行

盛夏を前に疫病退散除災招福を祈る「茅の輪まつり」が、六月七日から二十日まで執り行われ、期間中多くの方々が茅の輪をくぐり参拝された。

三十日午後三時から「夏越の大祓式」が、氏子崇敬者多数参列のもとで拝殿前の齋庭にて厳修された。大祓詞宣読等の諸儀に続き、宮司以下神職をはじめ参列者全員が「茅の輪」をくぐり、厳かに斎行された。年初めより知らず知らずの内に犯した罪穢を移した人形(ひとがた)は、神職の手により大川へ流されて祓い浄められた。この大祓式は十二月の大晦日にも斎行される。



第五十七回 日本鶏品評会

「彌彦神社日本鶏の会」では、五月四日・五日の二日間にわたり日本鶏品評会を開催し、県内外の愛鶏家から八十二点が出品された。鳴き声の長さを競う長鳴鶏の鳴き合わせ会も行われ、連休中で訪れた多くの参拝者が珍しさに足を止めていた。品評会の主な受賞者は次の通り(敬称略)。



最優秀賞

蜀鶏の部 蜀鶏

清水吉郎(新潟市)

越後三鶏の部 越後南京

関根繁明(新潟市)

一般鶏の部 尾曳

小野一夫(宮城県)

小軍鶏の部 小軍鶏

小野一夫(宮城県)

矮鶏の部 桂矮鶏

清水吉郎(新潟市)

特別賞

越後一宮賞 小軍鶏

小野一夫(宮城県)

準優勝 桂矮鶏

清水吉郎(新潟市)

彌彦神社宮司賞 蜀鶏

清水吉郎(新潟市)

新潟日報社賞 尾曳

小野一夫(宮城県)

NHK新潟放送局賞

越後南京

BSN新潟放送賞 桂矮鶏

清水吉郎(新潟市)

NST新潟総合テレビ

賞 小軍鶏

小野一夫(宮城県)

TENYテレビ新潟賞

比内鶏

塚原重明(胎内市)

UX新潟テレビ21賞 蜀鶏

土田 勲(新潟市)



(株)永井自動車

電話 (94) 四一〇一

弥彦温泉

ホテルヴァイス

弥彦神社前通り
電話 〇三(94)五六二二番

初宮詣と婚礼記念
彌彦神社認可

やなぎだ写真館



電話 (94) 四一五五番



東北電力(株)指定工事店
彌彦神社御用

株式会社 高倉電気商会

弥彦駅前
電話 (94) 二二六〇番

二階 和カフェ

一階 和雑貨 和小物おみやげ

社彩庵/ひらこお

彌彦神社前
電話 (94) 二二六二



(有)弥生商店
新潟県弥彦村彌彦神社前
TEL (0256) 94-5841
FAX (0256) 94-5065
http://yayoi.sake-ten.jp

**彌彦神社氏子会 総代に河村 八郎氏
副総代に永井 諭氏就任**

去る三月九日、令和七年度彌彦神社氏子会定期総会が開催され、決算・予算の承認、事業計画等を審議し、本年度の活動を決定した。
また、令和四年より総代を勤められていた柳田豊氏の勇退を受けて、後任として副総代の河村八郎氏が総代に選出された。定員二名の副総代は、狩谷一則氏が再任されるとともに、新たに永井諭氏が選出された。河村八郎氏は平成三年より役員、同二十五年より

第六十三回 県下小中学生写生大会

五月五日の「こどもの日」に、第六十三回県下小中学生写生大会が開催された。

午前九時からの児童福祉祭で、将来を担う子どもたちの健やかな成長が祈念された後、参加者は画用紙を受け取り、境内思い思いの場所で絵筆をふるった。提出された作品は厳正に審査され、五点が入賞した。
入賞作品は五月二十一日から六月二十日までの間、境内の参拝者休憩所にて展示された。受賞者は左記の通り。(敬称略)

▽幼稚園・保育園児の部

銀賞 佐藤みずき

(ひだまりこども園)

▽小学生の部

金賞 佐藤 惺南(中条小三年)

銀賞 西航樹(福戸小五年)

銅賞 だいげんさな(吉田小二年)

▽中学生の部

金賞 吉田悠依

(新大附属長岡中三年)



▲吉田 悠依さん



▲佐藤 惺南さん

**末社湯神社
春季大祭斎行**

去る六月十五日、末社湯神社(通称石薬師様)の春季大祭が斎行された。

湯神社は弥彦公園奥の山中に鎮座し、弥彦温泉発祥の地とされている。病氣平癒や商売繁盛などに高い御神威を発揮される御社として、近郷からの崇敬を集めている。

当日は多くの熱心な崇敬者の参列のもと賑々しく斎行された。

お妻戸さまで御田植祭斎行

六月三日、女神・熟穂屋姫命(うましほやひめのみこと)を奉祀する長岡市寺泊野積の撰社妻戸神社境内に設けられている約二畝の彌彦神社御神田において、恒例の「御田植祭」が執り行われた。

「御田植の儀」をはじめとする祭典の後、豊作を祈って陽光を表す赤い襷と豊かな水を表す青い腰紐を着けた妻戸妃神会(古川原直人会長)の会員の手によって、緑鮮やかな早苗が植え渡された。



**米どころの弥彦村で
お田植え祭執行**

成七年以来氏子会役員として尽力されている。
この他幹事・監査役・相談役にも新役員が加わり、燈籠神事をはじめとする年間諸神事への奉仕に向けての体制が整えられた。

弥彦村のブランド米「伊彌彦米(いやひこまい)」のお田植え祭が、去る五月二十一日に行われた。「伊彌彦米」は、農薬や化学肥料の使用を五十パーセント以上削減して栽培される特別栽培米で、村内を中心に生産されている。当日は豊作と農作業の安全を祈念する祭典の後、本間芳之弥彦村長以下の参列者とともに、弥彦小学校五年生児童らによって早苗が植えわたされた。

新潟県 弥彦温泉
美味満開

名代家

電話(94)二〇一三

弥彦の奥湯 観音寺
山里の花水に囲まれ香鼓く

上州苑

電話〇五五(94)二二一四

御菓子司

三笠屋

彌彦神社前通
電話〇五五(94)二二五七

神にちかう
心ではたせ
交通安全

彌彦神社交通安全講

國酒

彌彦
YAHIKO

彌彦酒造(株)

応接テーブル・電話台奉納



四月十六日、当神社永年の崇敬者である燕市・(株)青芳代表取締役青柳修次氏より、同社で製作した応接テーブルと電話台が奉納された。テーブル・電話台ともに脚に県産の櫻材を用い、天板は県産の桜材をレジにて硬化させ、研磨・塗装してうるわしく仕上げたもの。大前での奉告参拝の後、社務所内応接室の什器として設えられた。

御遷座百十年記念境内諸整備事業行わる

当神社の御本殿以下諸殿舎は、明治四十五年三月の大火によって烏有に帰し、先人たちの赤誠によって大正五年に御再建され、彌彦大神様は現在の御本殿に御遷座された。十年前の平成二十七年はこの大正御再建・御遷座より百年の佳節にあたり、弓道場・相撲場新築をはじめとする諸々の記念整備事業が行われ、数々の奉祝行事が賑々しく開催された。百十年にあたる本年は、十月に奉祝の祭典を斎行するほか、記念として次に挙げる境内諸整備を実施の予定で、一部は四月より開始している。

- 一の鳥居塗替え
- 玉の橋塗替え
- 拝殿南北裳階外側



- 階段改修
- 向拝前石畳改修並びに南北回廊床面補修
- 向拝前・南北翼舎・回廊内釣燈籠補修
- 摂社櫻井神社拝殿改修
- 末社十柱神社屋根茅葺替え
- 参集殿内外改修
- 境内常夜灯新設
- 社務所内内装更新
- 宝物殿内空調機更新

彌彦神社敬神婦人会 第五十六回定期総会

彌彦神社敬神婦人会(渡部由里子会長・会員二百四十二名)の第五十六回定期総会が去る六月十八日に社務所にて開催された。

総会に先立ち、御神前で会の発展と会員の健勝が祈願する祭典が行われ、令和六年度の会務・決算の報告と今年度の活動・予算が審議され承認された。総会に併せて開催の記

御祈禱奉納者芳名

特別大祈禱奉納

- 新潟市東区 (株)田中石油
- 中央区 (株)ユアテック 善宝寺
- 小杉講 今井ヨシ 水吉辰徳
- 西区 ヤマト運輸(株)新潟主管支店
- 長岡市 (株)松井組
- 弥彦村 弥彦競輪

特別祈禱奉納

- 新潟市中央区 石政石材(株)
- テレビ新潟放送網(株)新潟放送
- (株)福田組 第一電設工業(株)
- 西蒲区 (株)水倉組 川作フアイム(株)
- (株)堀田工房
- 燕市 (株)アクトギア スワオメッキ
- (株)田中栄一建築設計事務所
- 徐直幸
- 三条市 (有)サンケアー 石澤輝彦
- 長岡市 (株)大原鉄工所 大原電業(株)
- (株)ニチリョウ ワタナベグルー
- 上越市 三井田和彦
- 柏崎市 (株)エムアイデザイン
- 弥彦村 泉建築(株) 高倉電気商会 (株)羽入田塗装店 大門建設(株) 稲葉工務店

別大祈禱奉納

- 東京都 パンパシフィックエネルギー(株)
- 福島県 (有)晴進建設
- 神奈川県 沢田和哉
- 新潟市北區 本間英喜
- 中央区 新潟県信用組合
- 田村忠義 星井達彦
- 江南区 平井ミツイ
- 秋葉区 (有)渡辺不動産
- 西区 ヤマト運輸(株)新潟主管支店
- 同 ヤマト運輸(株)北信越統括 阿含宗北関東支部新潟道場信徒一同 佐藤嘉昭 多賀京子
- 西蒲区 新潟煙火工業(株)
- 燕市 (株)RCRAFT 和乎フレイズMS(株) 小林板金工業
- 三条市 三条社会保険委員会燕支部 TMK 吉川グループ
- 三条市 ネオテイク(株)
- 長岡市 (株)トクサイ ハママンフーズ(株) 星野ボーリング(株) 青柳裕
- 浅染良共 渡邊泰崇
- 新発田市 (株)越後ハム 山口建築
- 上越市 (株)エムアイデザイン
- 古川芳一
- 胎内市 八幡豊子
- 南魚沼市 関是郎

元祖温泉饅頭
弥彦みやげに
祥立堂

電話 (056) (94) 2058

Out Mount
アウトマウント
フアンチャー

木と人をつなぐ
手づくり家具

https://outmount.jp/

新潟県/弥彦温泉
政府登録国際観光旅館 (登録1984号)

四季の宿

みのや

〒959-0323 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦
☎0256-94-2010(代)
FAX 0256-94-4463

新潟の冬に鍛えられた
除雪機

フジコーポレーション(株)

燕市小池285番地
TEL 0256-64-5511

今秋の敬神旅行のご案内

越前国一の宮気比神宮と 丹後一宮籠神社特別参拝と 金澤百番街・21世紀美術館を巡る ～若狭美浜温泉と山代温泉 2泊3日の旅～

本年は日本三景の一つ「天橋立」近くに鎮まり坐して、伊勢神宮・外宮の元宮である丹後一宮籠神社(このじんじや)と、古代から海陸の要衝である敦賀の地に坐す越前国一之宮・気比神宮(けひじんぐう)の、北陸道の著名大社二社を参拝いたします。

展望台と観光船の両方から眺める天橋立、風光明媚な三方五湖と丹後・若狭の景勝を満喫し、帰路には北陸随一の観光地・金沢の人気スポットを訪れます。

お泊りは、日本海の豊かな海の幸で知られる若狭美浜温泉と、北陸の名湯山代温泉です。皆様のご参加をお待ちしております。

※行程は一部変更される場合があります。

※定員に達し次第、お申し込みを締め切ります。

募集要項

- 1 期 日 10月22日(水)～24日(金) 2泊3日
- 2 募集人員 60名(最少催行人員30名)
- 3 参加費 1名 93,000円(申込金10,000円を含みます)
- 4 申込締切 8月31日(日)
- 5 申込先 彌彦神社社務所
- 6 行程 (バス)

●10/22(水)

新潟各地 — 敦賀(昼食) — 越前国一の宮 気比神宮(正式参拝)
— 三方五湖レインボーライン — 若狭美浜温泉(泊)

●10/23(木)

若狭美浜温泉 — 丹後一宮 元伊勢籠神社(正式参拝) —
天橋立傘松公園(昼食) — (天橋立観光船) — 山代温泉(泊)

●10/24(金)

山代温泉 — 金澤百番街 — 金沢21世紀美術館(見学) — (昼食)
— 源ますずしミュージアム — 新潟各地

- 弥彦村 (株)高倉電気商会 大門
- 建設(株) 日本マントルクエスト(株)
- 東京都 山本明日香
- 北海道 (株)角井佐藤呉服店
- 北形県 (株)二代目高橋商店
- 茨城県 山田義博
- 栃木県 室岡浩

大祈禱奉納

- 新潟市北区 南浜すいか部会
- 石山一郎
- 中央区 中華と和ダイニング香新
- 西蒲区 阿部裕子 佐藤晴貴
- 西蒲区 (株)末広製菓 司法書
- 士法人アプライス
- 燕市 フジイコーポレーション(株)
- (株)日本サンライズ (南清水土木)
- 三条市 (株)エフライズ
- 相田美枝子 捧実穂
- 長岡市 (株)小林自動車 ふみコー

- 下田村 田村隆 中川孝 和田清宏
- 見附市 齋藤幸人 (株)あかつき
- 新発田市 白井まりえ
- 五泉市 公益財団法人南魚沼
- 南魚沼市 交通安全協会
- 佐渡市 伊藤紀美子 夏川高輔
- 弥彦村 弥彦観光索道(株) 日本
- 益裁協会 弥彦支部
- 津南町 上村和花菜
- 東京都 (有)ベルウッド 稲毛幹
- 白鳥美奈 小林明博 白川千恵
- 青森県 (株)とがわ建設
- 近藤優子 (株)ランコーポレーション
- 福島県 眞部紀幸
- 栃木県 (有)彩電工芸
- 埼玉県 泉田功 長田朱美
- 千葉県 (有)慶州苑
- 神奈川県 神道日垣の庭
- 富山県 (有)ライブプラン研究所
- 長野県 月岡秀樹

大々神楽講参拝

(三月・四月・五月)

- 新潟市中央区 聖嶽講
- 秋葉区 四十五人講
- 西区 五十風弥彦大々講
- 山田講
- 大野町講
- 白根講
- 新飯田講
- 茨曾根講
- 福井大々講
- 小中川誠心講
- 三文字講
- 燕不動講
- 小池講
- 道金講
- 下保内講
- 東光寺講
- 今町弥彦大々講
- 柏崎船頭会大々講

新発田市

加茂市

五泉市

弥彦村

社頭往来

- 大沢講
- 大友講
- 加治万代講
- 大野戸野港講
- 鶴ノ森講
- 宮野下講
- 弥彦大々講
- 矢作大々講
- 静岡県富士浅間大
- 社氏子青年会
- 彌彦神社氏子会
- 新潟県神社庁西蒲
- 原支部
- 燕市諏訪神社運営
- 西蒲原神社総代会
- 役員一同

三月中

四月中

- 十三日 一般社団法人弥彦観
- 光協会
- 十六日 (株)青芳応接テール
- 電話台奉納奉告参拝
- 彌彦神社敬神婦人
- 会役員一同
- 山梨県神社庁甲府
- 支部
- 弥彦観光索道(株)代
- 表取締役会長加藤
- 治氏
- 二十五日 静岡県久能山東照
- 宮名譽宮司・久能
- 山東照宮博物館館長
- 落合偉洲氏
- 五月中
- 十八日 新潟県弓道連盟ねん
- りんピック実行委員会
- 東京都稲荷神社総
- 代会
- 新潟県氏子青年協
- 議事会
- 立正佼成会新潟支
- 教区
- 二十七日
- 二十四日
- 二十二日

三月中

四月中

- 五日 第一駐車場弥彦の丘
- 美術館企画告知看
- 板設置清祓
- ひらせいホームセンター
- 巻店改修工事竣工祭
- 十三日
- 向拝前階段・石畳改
- 修工事安全祈願祭
- 向拝春日燈・回廊春
- 日燈修理塗装安全祈
- 願祭
- 四日 BSN(株)新潟放送非
- 常用発電機更新工事
- 安全祈願祭
- 撰社櫻井神社拜殿桁
- 下修繕工事安全祈願祭
- 社務所内装工事安全
- 祈願祭
- 七日 TONY(株)テレビ新潟
- 放送網弥彦山送信
- 所UPS更新工事安全
- 祈願祭
- 十五日 弥彦競輪場大型電
- 光揭示板撤去解体工
- 事安全祈願祭
- 参集殿改修工事・境
- 内ライントップ工事
- 一の鳥居玉の橋塗替え
- 工事・拜殿向階高欄
- 改修工事安全祈願祭
- 二十五日 東北電力ネットワー
- ク(株)弥彦山配電設備
- 改良工事安全祈願祭
- 三十一日 弥彦村高橋昭仁家
- 家屋解体清祓
- 弥彦村伊彌彦米お田
- 植え祭
- 大鳥居シーリング改
- 修工事安全祈願祭

彌彦神社社務所

令和七年七月一日 発行
 〒959-9103 新発田市弥彦村弥彦
 電話 〇五〇九四一〇〇〇一
 FAX 〇五〇九四一四五五二
 印刷所 株式会社タカミ

外祭